

2017年9月13日

大阪商工会議所
公益社団法人 関西経済連合会

「第67回経営・経済動向調査」結果について

<調査概要>

- ◆調査目的 大阪商工会議所と関西経済連合会は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。
- ◆調査期間 2017年8月21日（月）～9月4日（月）
- ◆調査対象 1,627社（大阪商工会議所・関西経済連合会の会員企業）
- ◆調査方法 調査票の発送・回収ともにファクシミリ
- ◆有効回答数 419社（有効回答率25.8%）

【調査結果の特徴】

1 国内景気について（単数回答）

～4期連続のプラスとなり、景況感の改善続く

- 2017年7～9月期の国内景気は、BSI値（「上昇」回答割合－「下降」回答割合）が18.1と、4期連続でプラス。前回予測値（15.5）よりもBSI値が上昇するなど、景況感は改善。
- 企業規模別では、大企業（前期23.9→今期24.5）、中小企業（前期5.2→今期12.8）ともに、プラス幅を拡大。
- 先行きについては、10～12月期のBSI値は22.0、2018年1～3月期は16.3と、先行き回復を見込む。

2 自社業況について（単数回答）

～4期連続のプラスになるも、中小企業に弱さも

- 7～9月期における自社業況は、BSI値が8.9と、2013年4～6月期から2014年1～3月期以来、およそ3年半ぶりに4期連続のプラス。
- 企業規模別では、大企業（前期5.9→今期18.4）がプラス幅を拡大する一方、中小企業（前期4.2→今期0.9）はほぼ横ばいに止まり、弱さも見られる。
- 先行きについては、10～12月期のBSI値は20.7、2018年1～3月期は13.5と、改善を見込む。

3 平成29年度下期の経営上の懸念事項について（3項目内複数回答）

～2社に1社が「国内外の政治情勢」を懸念

- 平成29年度下期の経営上の懸念事項を尋ねたところ、5割超（51.6%）の企業が「国内外の政治情勢の不透明さ」と回答。以下、「国内市場の低迷・競争激化」（48.7%）、「人手不足による働き手の確保」（42.7%）と続く。
- 業種別に見ると、製造業では「燃料、原材料高」（39.9%）、「為替の急激な変動」（33.5%）の割合が、「人手不足による働き手の確保」（32.9%）より上位に挙げられている。一方、非製造業では、「人手不足による働き手の確保」（48.7%）の割合が高まるとともに、4社に1社は「個人消費の低迷」（24.1%）を挙げている。

4 第3次安倍第3次改造内閣が取り組むべき政策について（3項目内複数回答）

（1）安倍政権が掲げる方針で期待するもの

- 安倍政権が掲げる方針で期待するものについて尋ねたところ、「未来投資戦略（成長戦略）の推進による経済成長の実現」（59.7%）が最多。以下、「多様な人材の活用、働き方改革、人づくりなど、一億総活躍の実現」（41.5%）、「東京一極集中是正など、地方創生の実現」（37.0%）と続く。

（2）安倍改造内閣に求める経済対策について

- 安倍改造内閣に求める経済対策について尋ねたところ、「人手不足に起因する「生産性向上支援」（47.5%）、「雇用・労働対策」（46.3%）が上位に挙がり、以下、「税制の見直し」（43.9%）、「中小企業対策」（37.5%）、「消費喚起策」（35.3%）と続く。
- 業種別では、製造業は「税制の見直し」（51.9%）の割合が高く、非製造業では「消費喚起策」（39.8%）の割合が高い。

以 上

第67回経営・経済動向調査

大阪商工会議所 公益社団法人 関西経済連合会

<目次>

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 国内景気 | 2 |
| 2. 自社業況 総合判断 | 3 |
| 3. 自社業況 個別判断 | 4 |
| 4. 平成29年度下期の経営上の懸念事項について | 8 |
| 5. 第3次安倍第3次改造内閣が取り組むべき政策について | 9 |
| 参考(BSI値の推移) | 11 |
| 参考(国内景気判断と自社業況判断の推移) | 12 |

<概要>

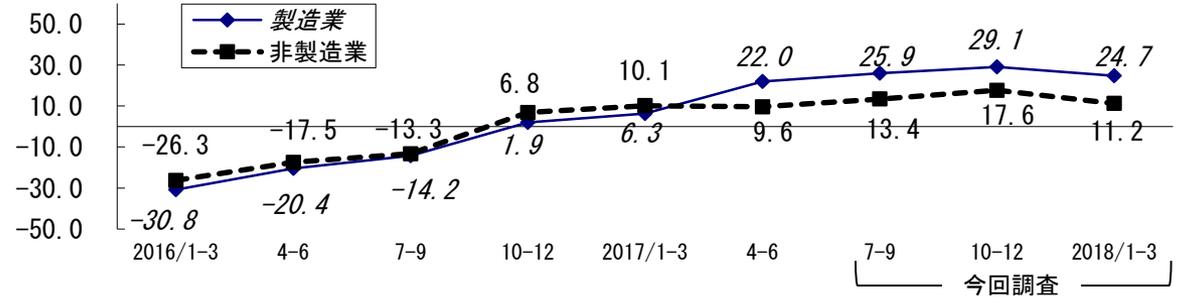
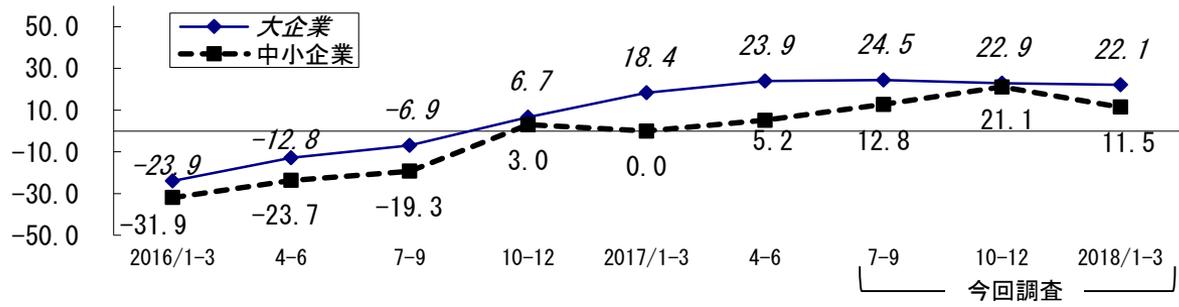
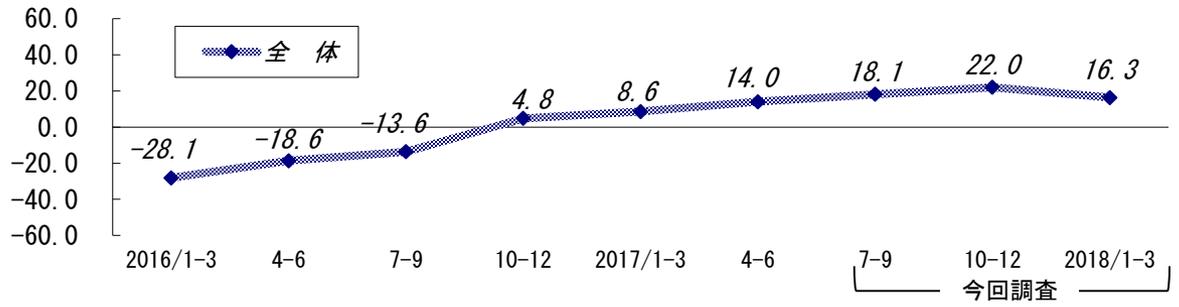
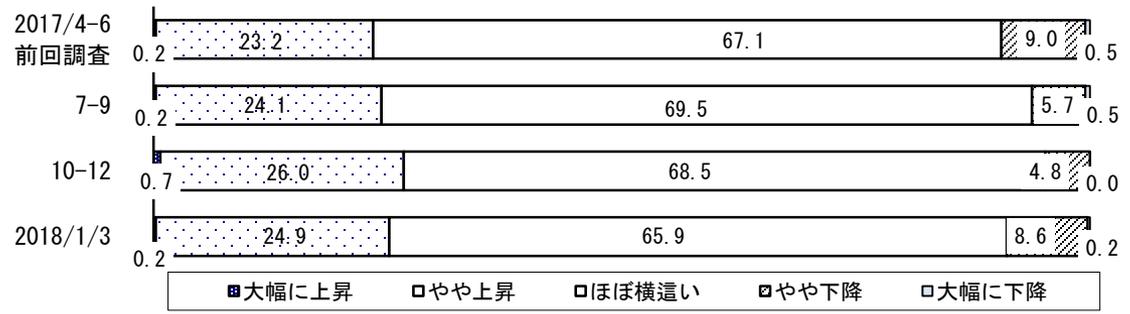
- ▶ 調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会の会員企業 1,627社
- ▶ 調査時期：2017年8月21日～9月4日
- ▶ 調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる
- ▶ 回答状況：419社（有効回答率25.8%）（大企業：192社、中小企業：227社）
企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。
（製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下）
- ▶ 規模・業種別回答状況：

| | 製造業 | | | 非製造業 | | | |
|-----------|-----|------|-----|---------------|------|-----|-----|
| | 大企業 | 中小企業 | 計 | 大企業 | 中小企業 | 計 | |
| 食料品 | 5 | 5 | 10 | 卸売業 | 21 | 54 | 75 |
| 繊維工業・製品 | 6 | 2 | 8 | 小売業 | 8 | 5 | 13 |
| パルプ・紙製品 | 1 | 2 | 3 | 出版・印刷 | 2 | 5 | 7 |
| 化学工業 | 15 | 12 | 27 | 建設業 | 21 | 23 | 44 |
| 鉄鋼 | 5 | 6 | 11 | 不動産業 | 7 | 8 | 15 |
| 非鉄金属・金属製品 | 8 | 12 | 20 | 運輸・通信業 | 7 | 18 | 25 |
| 一般機械器具 | 4 | 6 | 10 | 金融・保険業 | 14 | 3 | 17 |
| 電気機械器具 | 11 | 8 | 19 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 2 | 1 | 3 |
| 輸送用機械器具 | 1 | 0 | 1 | サービス業 | 33 | 29 | 62 |
| 精密機械器具 | 1 | 2 | 3 | | | | |
| その他製造業 | 20 | 26 | 46 | | | | |
| 計 | 77 | 81 | 158 | 計 | 115 | 146 | 261 |

※グラフの数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、文章の数値と一致しないことがあります。

1. 国内景気

— 4期連続のプラスとなり、景況感の改善続く —



<足もと>

7～9月期における国内景気は、前期と比べ「上昇」と見る回答が24.3%、「下降」と見る回答は6.2%。
この結果、BSI値（「上昇」回答割合－「下降」回答割合、以下同じ）は18.1と、4期連続でプラス圏を推移。前回予測値(15.5)を上回るなど、景況感の改善が続く。

<先行き>

10～12月期のBSI値は22.0、2018年1～3月期は16.3と、プラス圏で推移する見込み。

<規模別>

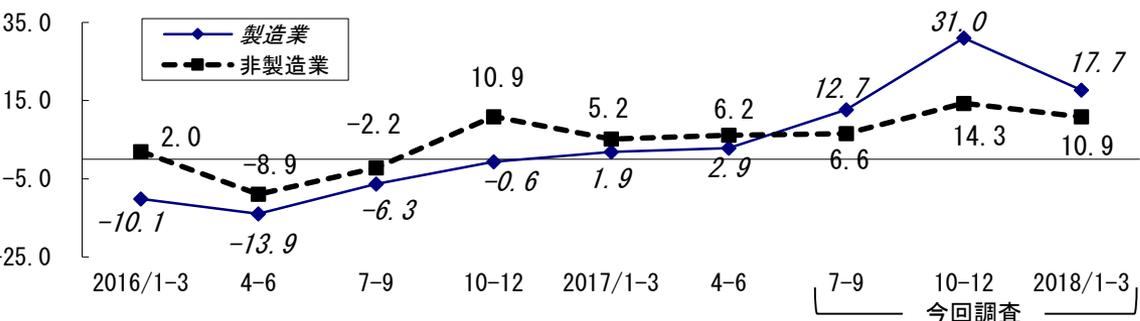
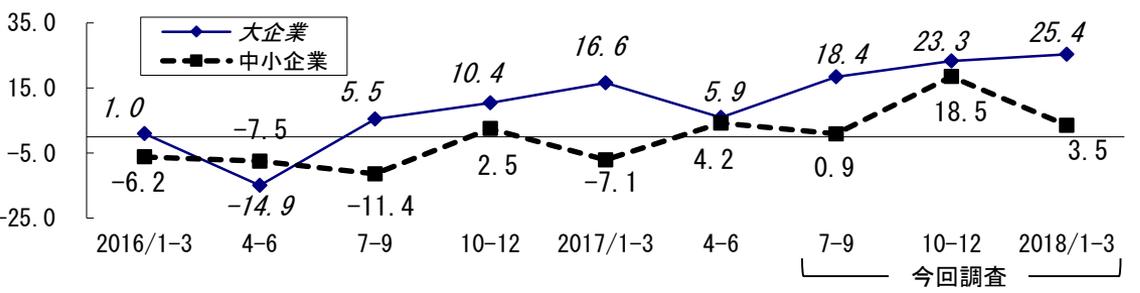
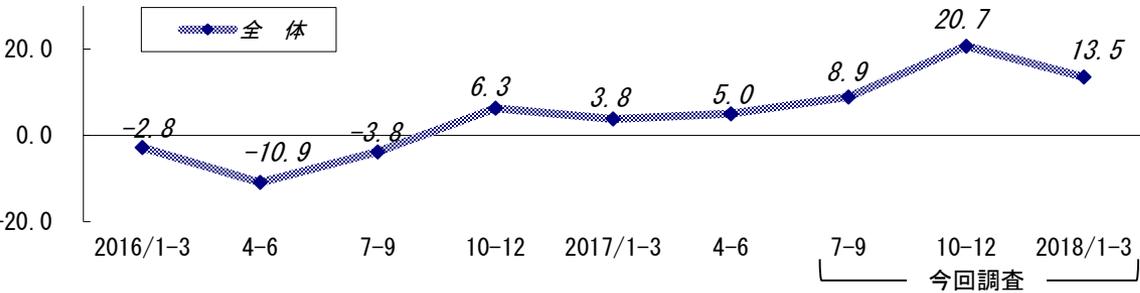
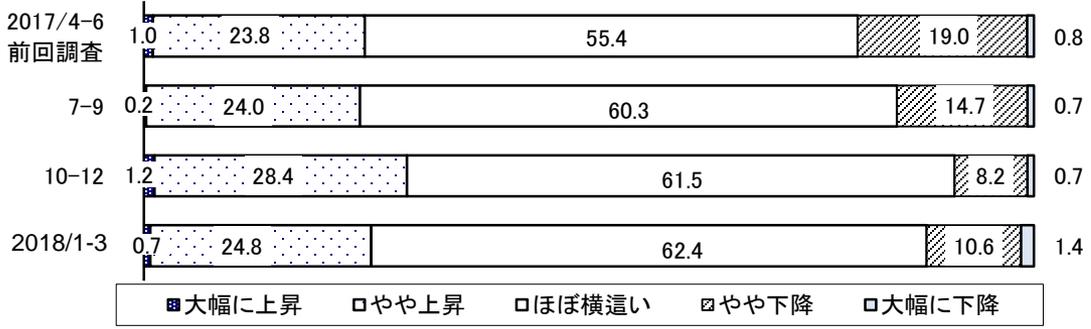
足もと（7～9月期）のBSI値は、大企業・中小企業とも、前期よりプラス幅を拡大し、プラス圏を推移。
先行きも、大企業、中小企業ともにプラス圏を推移する見込み。

<業種別>

足もと（7～9月期）のBSI値は、製造業、非製造業ともに前期よりプラス幅を拡大し、プラス圏を推移。
先行きも、製造業、非製造業ともにプラス圏を推移する見込み。

2. 自社業況 総合判断

ー 4期連続のプラスになるも、中小企業に弱さもー



<足もと>

7～9月期における自社業況の総合判断は、「上昇」と見る回答が24.3%、「下降」と見る回答は15.4%。

この結果、BSI値は8.9と、2013年4～6月期から2014年1～3月期以来、およそ3年半ぶりに4期連続でプラス圏を推移。

<先行き>

10～12月期のBSI値は20.7、2018年1～3月期は13.5と、改善を見込む。

<規模別>

足もと（7～9月期）のBSI値は、大企業は前期からプラス幅拡大し、5期連続でプラス。中小企業も2期連続でプラス圏を推移するも、前期からほぼ横ばいとなり、弱さも見られる。

先行きも、大企業、中小企業ともにプラス圏を推移する見込み。

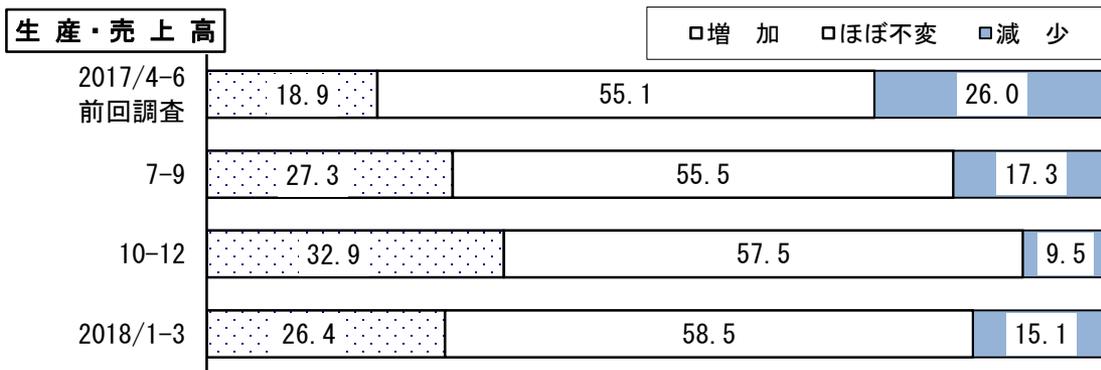
<業種別>

足もと（7～9月期）のBSI値は、製造業は3期連続のプラスとなり、非製造業は4期連続のプラスとなった。

先行きも、製造業、非製造業ともにプラス圏を推移する見込み。

3. 自社業況 個別判断

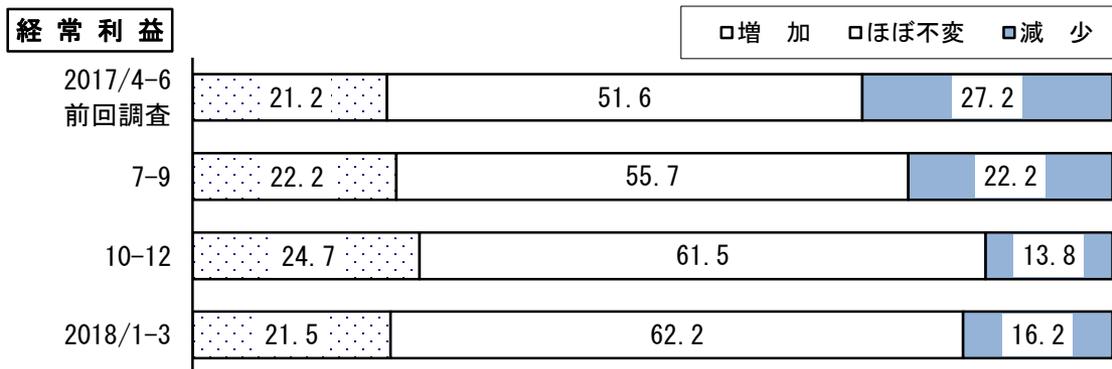
－ 雇用判断は20期連続の不足超過 －



＜生産・売上高＞

足もと（7～9月期）のBSI値は、10.0となり、2期ぶりにプラスとなった。

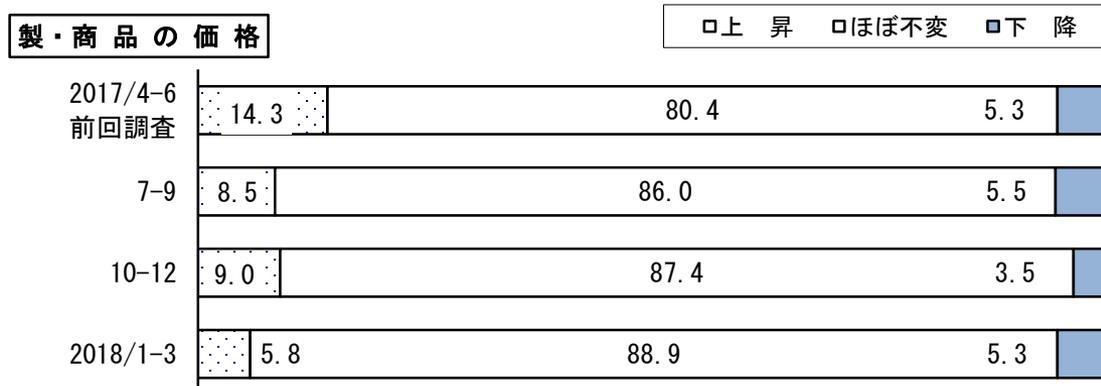
先行きについては、10～12月期（23.4）、2018年1～3月期（11.3）と、プラス圏を推移する見込み。



＜経常利益＞

足もと（7～9月期）のBSI値は、0.0となった。

先行きについては、10～12月期（10.9）、2018年1～3月期（5.3）と、プラス圏を推移する見込み。

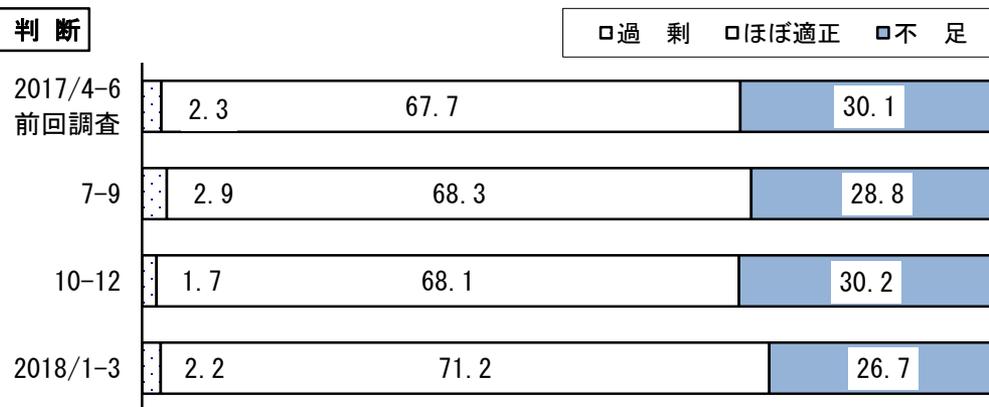


＜製・商品の価格＞

全体の8割台半ば以上は「ほぼ不変」。足もと（7～9月期）のBSI値は3.0と、4期連続でプラス圏で推移。

先行きについても、10～12月期（5.5）、2018年1～3月期（0.5）と、プラス圏を推移する見込み。

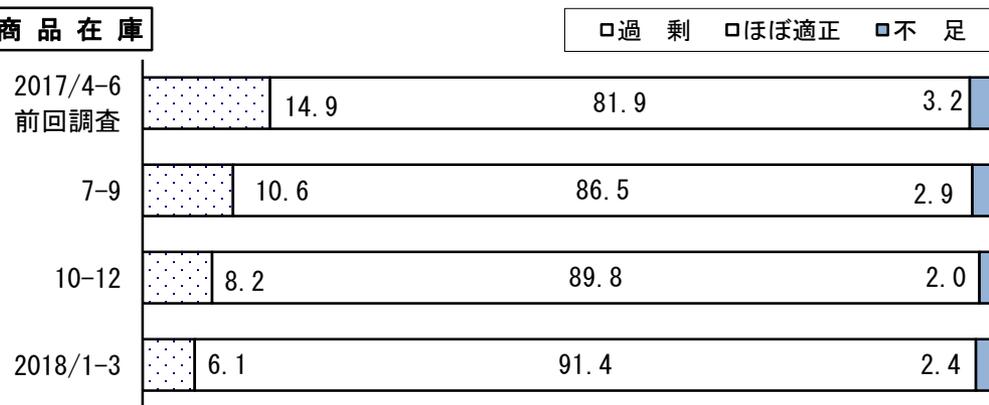
雇用判断



＜雇用判断＞

足もと（7～9月期）のBSI値は▲25.9と前期（▲27.8）よりもマイナス幅が縮小したものの、大幅な不足超過が続く。2012年10～12月期以来、20期連続の不足超過。先行きも、10～12月期（▲28.5）、2018年1～3月期（▲24.5）と大幅な不足超過が続く見込み。

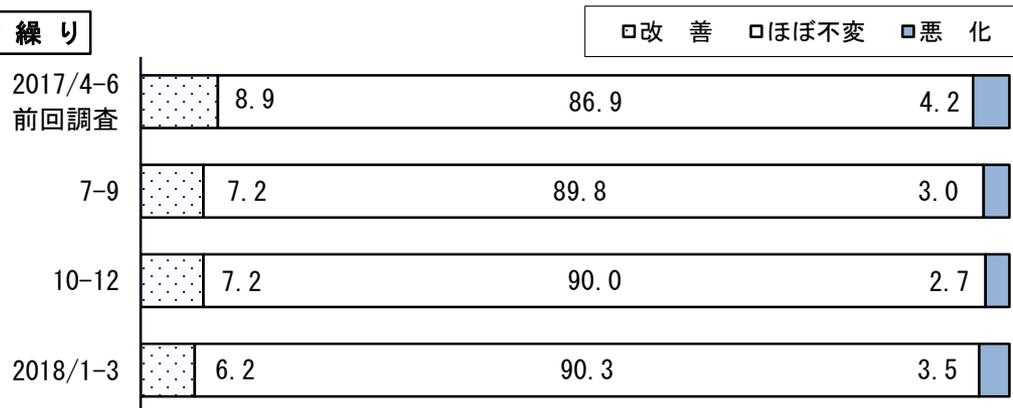
製・商品在庫



＜製・商品在庫＞

足もと、先行きとも「ほぼ適正」とする回答が9割前後を占める。過剰超過の占める割合は減少していく見込み。

資金繰り



＜資金繰り＞

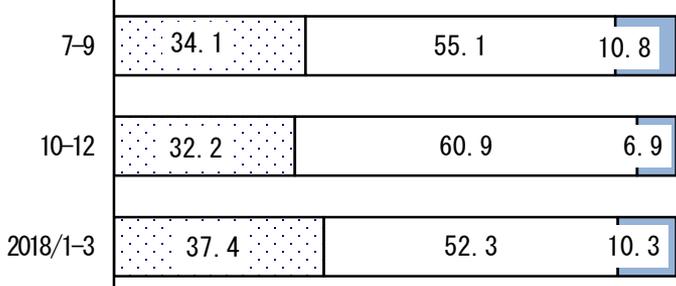
足もと、先行きとも「ほぼ不変」とする回答が約9割を占める。

【参考—個別判断 企業規模別】

大企業 自社業況 個別判断

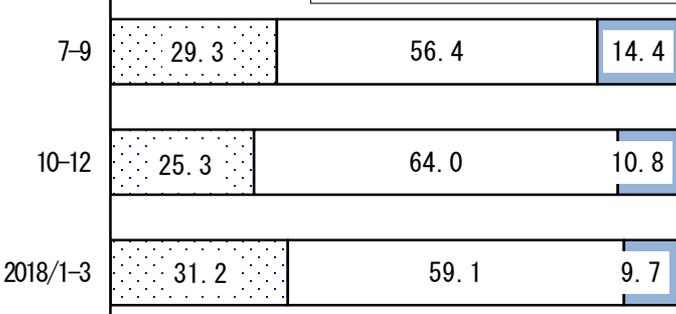
生産・売上高

□増加 □ほぼ不変 □減少



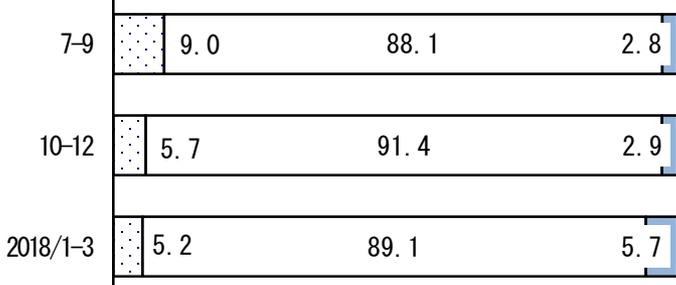
経常利益

□増加 □ほぼ不変 □減少



製・商品の価格

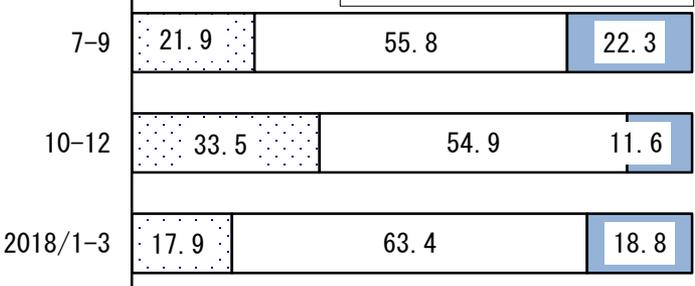
□上昇 □ほぼ不変 □下降



中小企業 自社業況 個別判断

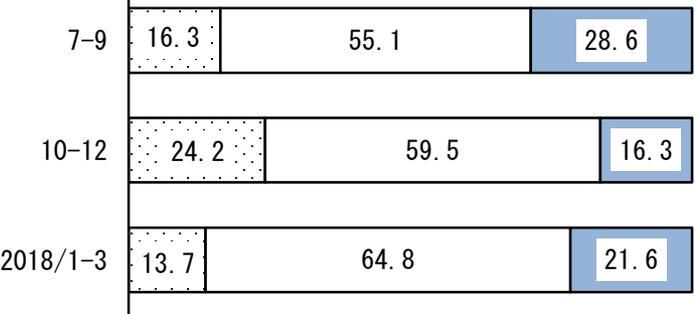
生産・売上高

□増加 □ほぼ不変 □減少



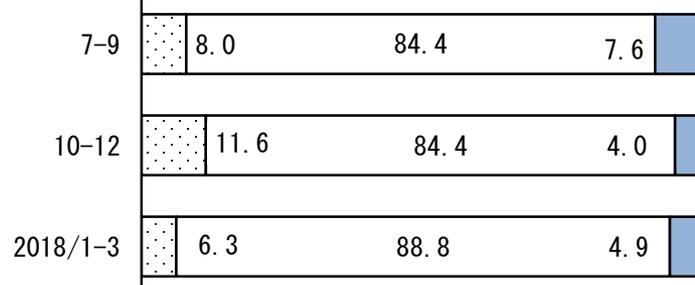
経常利益

□増加 □ほぼ不変 □減少



製・商品の価格

□上昇 □ほぼ不変 □下降



<生産・売上高>

足もとのBSI値は、大企業がプラス、中小企業がマイナス。先行きは、大企業はプラスを維持、中小企業は10～12月期にプラスに転じ、2018年1～3月期に再びマイナスとなるなど、一進一退。

<経常利益>

足もとのBSI値は、大企業がプラス、中小企業がマイナス。先行きは、大企業はプラスを維持、中小企業は10～12月期にプラスに転じ、2018年1～3月期に再びマイナスに転じる見込み。

<製・商品の価格>

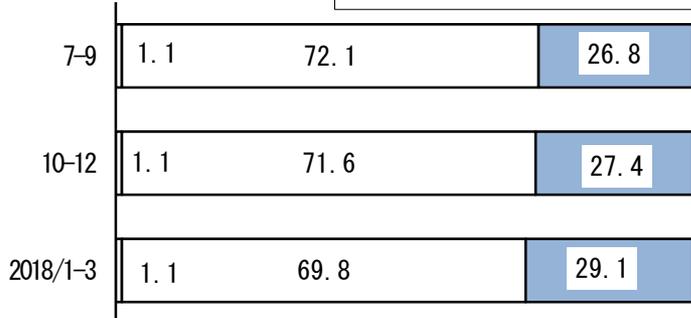
各期を通じて大企業は「ほぼ不変」の回答が9割前後、中小企業は8割台半ば前後で推移。

BSI値は足もと、先行きともプラスの見込みながら、大企業は2018年1～3月期はマイナスに転じるなど、弱さがみられる。

大企業 自社業況 個別判断

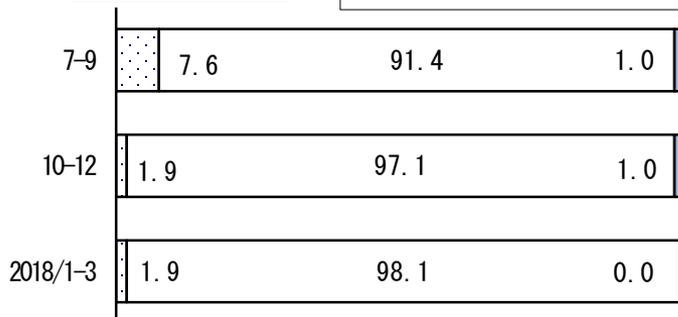
雇用判断

□過剩 □ほぼ適正 □不足



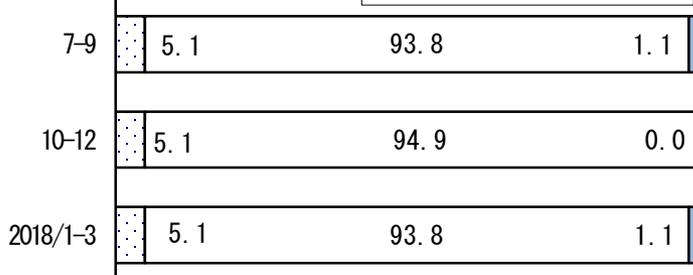
製・商品在庫

□過剩 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

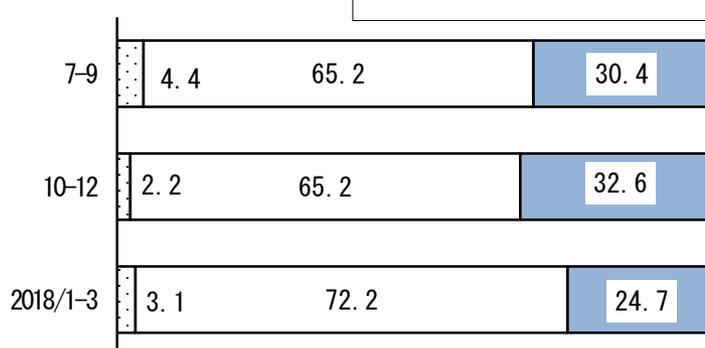
□改善 □ほぼ不変 □悪化



中小企業 自社業況 個別判断

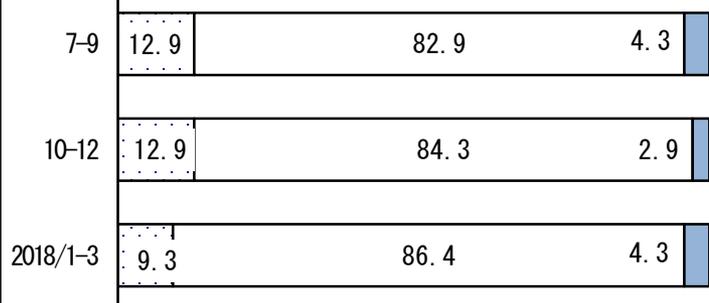
雇用判断

□過剩 □ほぼ適正 □不足



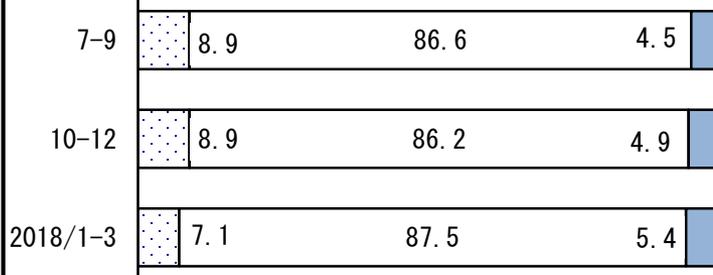
製・商品在庫

□過剩 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

□改善 □ほぼ不変 □悪化



<雇用判断>

大企業・中小企業ともに各期を通じ、大幅な不足超過が続き、人手不足感が強い。

<製・商品在庫>

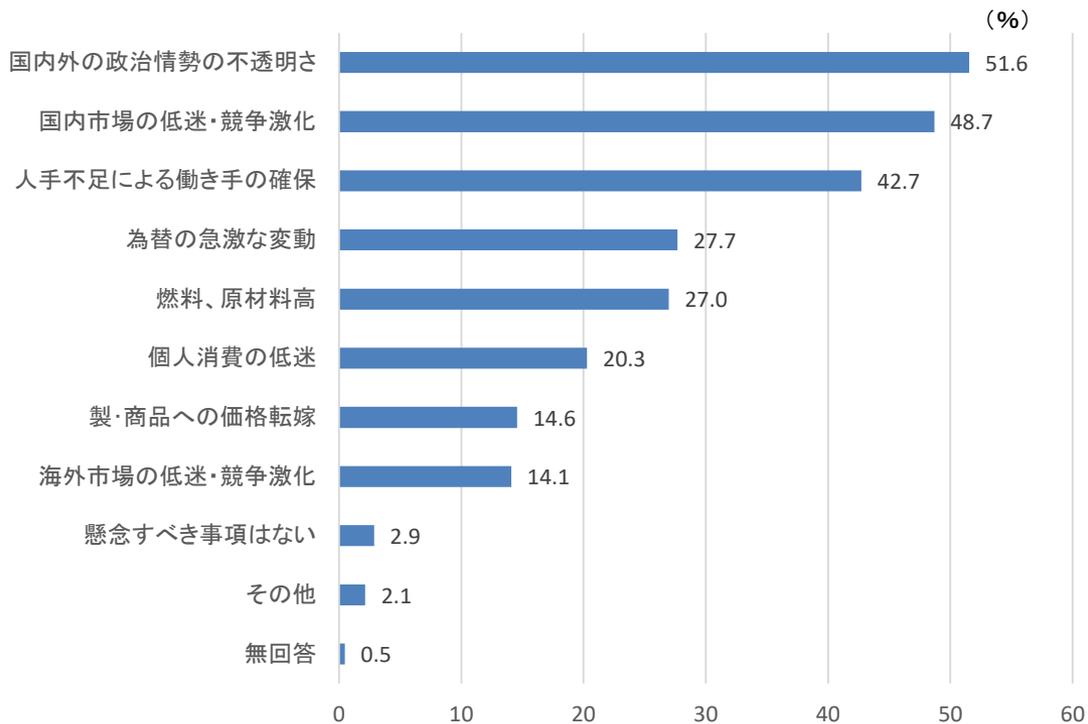
大企業・中小企業ともに各期を通じ「ほぼ適正」が最多。

<資金繰り>

各期を通じ、大企業では9割超が、中小企業では8割台半ば超が、「ほぼ不変」と回答。

4. 平成29年度下期の経営上の懸念事項について

(3項目内複数回答)



平成29年度下期の経営上の懸念事項を尋ねたところ、5割超(51.6%)の企業が「国内外の政治情勢の不透明さ」と回答。以下、「国内市場の低迷・競争激化」(48.7%)、「人手不足による働き手の確保」(42.7%)と続く。

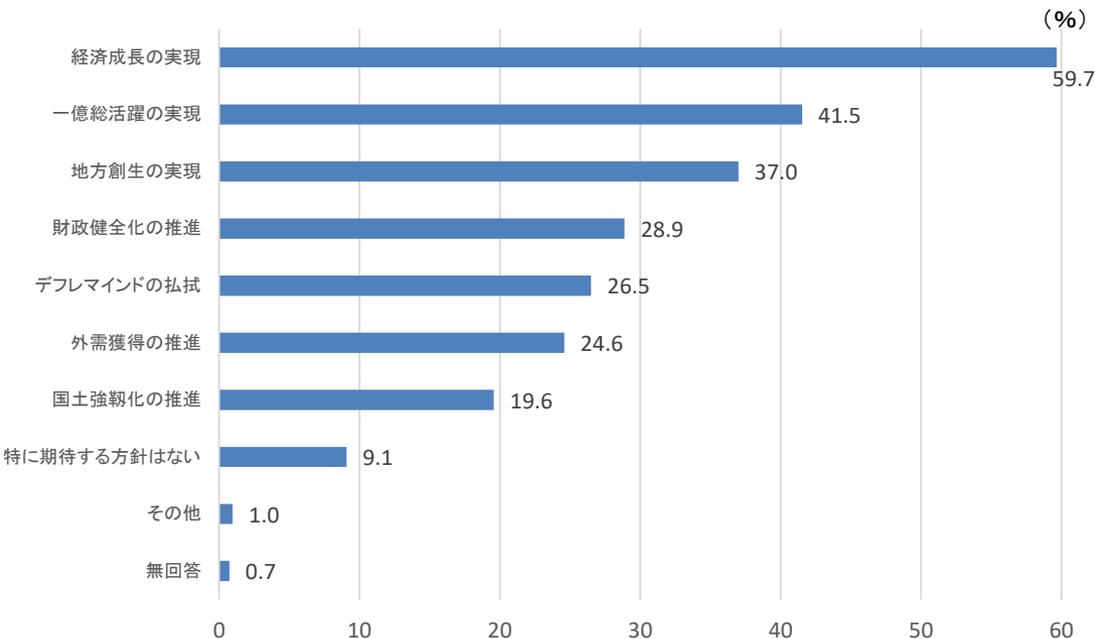
業種別に見ると、製造業では「燃料、原材料高」(39.9%)、「為替の急激な変動」(33.5%)の割合が、「人手不足による働き手の確保」(32.9%)より上位に挙げられている。

一方、非製造業では、「人手不足による働き手の確保」(48.7%)の割合が高まるとともに、4社に1社は「個人消費の低迷」(24.1%)を挙げている。

| | | 総計 | 国内外の政治情勢の不透明さ | 国内市場の低迷・競争激化 | 海外市場の低迷・競争激化 | 為替の急激な変動 | 燃料、原材料高 | 個人消費の低迷 | 製・商品への価格転嫁 | 人手不足による働き手の確保 | 懸念すべき事項はない | その他 | 無回答 |
|------|-----|-----|---------------|--------------|--------------|----------|---------|---------|------------|---------------|------------|-----|-----|
| 総計 | 件数 | 419 | 216 | 204 | 59 | 116 | 113 | 85 | 61 | 179 | 12 | 9 | 2 |
| | 構成比 | - | 51.6 | 48.7 | 14.1 | 27.7 | 27.0 | 20.3 | 14.6 | 42.7 | 2.9 | 2.1 | 0.5 |
| 大企業 | 件数 | 192 | 103 | 87 | 42 | 66 | 53 | 40 | 19 | 71 | 4 | 4 | 2 |
| | 構成比 | - | 53.6 | 45.3 | 21.9 | 34.4 | 27.6 | 20.8 | 9.9 | 37.0 | 2.1 | 2.1 | 1.0 |
| 中小企業 | 件数 | 227 | 113 | 117 | 17 | 50 | 60 | 45 | 42 | 108 | 8 | 5 | 0 |
| | 構成比 | - | 49.8 | 51.5 | 7.5 | 22.0 | 26.4 | 19.8 | 18.5 | 47.6 | 3.5 | 2.2 | 0.0 |
| 製造業 | 件数 | 158 | 90 | 74 | 32 | 53 | 63 | 22 | 30 | 52 | 3 | 5 | 0 |
| | 構成比 | - | 57.0 | 46.8 | 20.3 | 33.5 | 39.9 | 13.9 | 19.0 | 32.9 | 1.9 | 3.2 | 0.0 |
| 非製造業 | 件数 | 261 | 126 | 130 | 27 | 63 | 50 | 63 | 31 | 127 | 9 | 4 | 2 |
| | 構成比 | - | 48.3 | 49.8 | 10.3 | 24.1 | 19.2 | 24.1 | 11.9 | 48.7 | 3.4 | 1.5 | 0.8 |

5. 第3次安倍第3次改造内閣が取り組むべき政策について

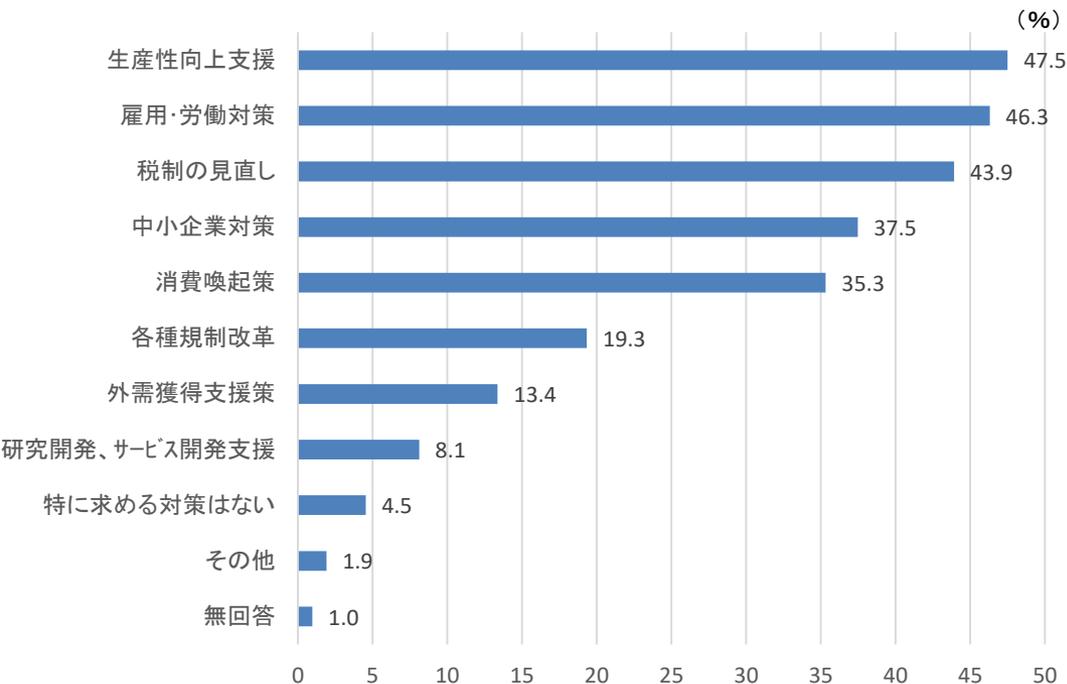
(1) 安倍政権が掲げる方針で期待するもの (3項目内複数回答)



安倍政権が掲げる方針で期待するものについて尋ねたところ、「未来投資戦略（成長戦略）の推進による経済成長の実現」（59.7%）が最多。以下、「多様な人材の活用、働き方改革、人づくりなど、一億総活躍の実現」（41.5%）、「東京一極集中是正など、地方創生の実現」（37.0%）と続く。

| | | 総計 | 未来投資戦略の推進による経済成長の実現 | 外需獲得に向けた経済連携協定、自由貿易協定の推進 | 多様な人材活用、働き方改革、人づくり等、一億総活躍の実現 | 東京一極集中是正など地方創生の実現 | 防災対策をはじめとする、国土強靱化の推進 | 社会保障と税の一体改革による、財政健全化の推進 | デフレマインドの払拭 | 特に期待する方針はない | その他 | 無回答 |
|------|-----|-----|---------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------|----------------------|-------------------------|------------|-------------|-----|-----|
| | | | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 総計 | 件数 | 419 | 250 | 103 | 174 | 155 | 82 | 121 | 111 | 38 | 4 | 3 |
| | 構成比 | - | 59.7 | 24.6 | 41.5 | 37.0 | 19.6 | 28.9 | 26.5 | 9.1 | 1.0 | 0.7 |
| 大企業 | 件数 | 192 | 142 | 50 | 88 | 67 | 43 | 44 | 49 | 8 | 2 | 3 |
| | 構成比 | - | 74.0 | 26.0 | 45.8 | 34.9 | 22.4 | 22.9 | 25.5 | 4.2 | 1.0 | 1.6 |
| 中小企業 | 件数 | 227 | 108 | 53 | 86 | 88 | 39 | 77 | 62 | 30 | 2 | 0 |
| | 構成比 | - | 47.6 | 23.3 | 37.9 | 38.8 | 17.2 | 33.9 | 27.3 | 13.2 | 0.9 | 0.0 |
| 製造業 | 件数 | 158 | 98 | 44 | 60 | 44 | 28 | 55 | 50 | 14 | 2 | 1 |
| | 構成比 | - | 62.0 | 27.8 | 38.0 | 27.8 | 17.7 | 34.8 | 31.6 | 8.9 | 1.3 | 0.6 |
| 非製造業 | 件数 | 261 | 152 | 59 | 114 | 111 | 54 | 66 | 61 | 24 | 2 | 2 |
| | 構成比 | - | 58.2 | 22.6 | 43.7 | 42.5 | 20.7 | 25.3 | 23.4 | 9.2 | 0.8 | 0.8 |

(2) 安倍改造内閣に求める経済対策(3項目複数回答)



安倍改造内閣に求める経済対策について尋ねたところ、人手不足に起因する「生産性向上支援」(47.5%)、「雇用・労働対策」(46.3%)が上位に挙がり、以下、「税制の見直し」(43.9%)、「中小企業対策」(37.5%)、「消費喚起策」(35.3%)と続く。

業種別では、製造業は「税制の見直し」(51.9%)の割合が高く、非製造業では「消費喚起策」(39.8%)の割合が高い。

| | | 総計 | 生産性向上支援 | 雇用・労働対策 | 消費喚起策 | 外需獲得支援策 | 研究開発、サービス開発支援 | 各種規制改革 | 中小企業対策 | 税制の見直し | 特に求める対策はない | その他 | 無回答 |
|------|-----|-----|---------|---------|-------|---------|---------------|--------|--------|--------|------------|-----|-----|
| 総計 | 件数 | 419 | 199 | 194 | 148 | 56 | 34 | 81 | 157 | 184 | 19 | 8 | 4 |
| | 構成比 | - | 47.5 | 46.3 | 35.3 | 13.4 | 8.1 | 19.3 | 37.5 | 43.9 | 4.5 | 1.9 | 1.0 |
| 大企業 | 件数 | 192 | 112 | 98 | 80 | 31 | 19 | 49 | 21 | 78 | 6 | 4 | 3 |
| | 構成比 | - | 58.3 | 51.0 | 41.7 | 16.1 | 9.9 | 25.5 | 10.9 | 40.6 | 3.1 | 2.1 | 1.6 |
| 中小企業 | 件数 | 227 | 87 | 96 | 68 | 25 | 15 | 32 | 136 | 106 | 13 | 4 | 1 |
| | 構成比 | - | 38.3 | 42.3 | 30.0 | 11.0 | 6.6 | 14.1 | 59.9 | 46.7 | 5.7 | 1.8 | 0.4 |
| 製造業 | 件数 | 158 | 82 | 64 | 44 | 28 | 23 | 26 | 50 | 82 | 6 | 5 | 1 |
| | 構成比 | - | 51.9 | 40.5 | 27.8 | 17.7 | 14.6 | 16.5 | 31.6 | 51.9 | 3.8 | 3.2 | 0.6 |
| 非製造業 | 件数 | 261 | 117 | 130 | 104 | 28 | 11 | 55 | 107 | 102 | 13 | 3 | 3 |
| | 構成比 | - | 44.8 | 49.8 | 39.8 | 10.7 | 4.2 | 21.1 | 41.0 | 39.1 | 5.0 | 1.1 | 1.1 |

| 回数・時期 | 国内景気 | | | | | 自社業況 | | | | | |
|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 全体 | 足もと | | 3ヵ月後 | 6ヵ月後 | 全体 | 足もと | | 3ヵ月後 | 6ヵ月後 | |
| | | 大企業 | 中小企業 | | | | 大企業 | 中小企業 | | | |
| 1 | 2001年3月 | ▲56.4 | ▲57.6 | ▲55.3 | ▲33.1 | ▲9.8 | ▲21.6 | ▲7.6 | ▲34.7 | ▲17.7 | ▲0.9 |
| 2 | 2001年6月 | ▲44.2 | ▲42.2 | ▲46.2 | ▲23.5 | 6.7 | ▲31.7 | ▲26.8 | ▲36.4 | ▲6.8 | 9.5 |
| 3 | 2001年9月 | ▲78.6 | ▲81.8 | ▲75.3 | ▲58.1 | ▲37.7 | ▲44.8 | ▲38.6 | ▲51.1 | ▲27.9 | ▲21.7 |
| 4 | 2001年12月 | ▲69.8 | ▲72.8 | ▲67.0 | ▲59.3 | ▲26.8 | ▲38.4 | ▲40.7 | ▲36.4 | ▲30.9 | ▲17.4 |
| 5 | 2002年3月 | ▲66.1 | ▲63.9 | ▲68.0 | ▲33.7 | ▲11.5 | ▲37.6 | ▲32.6 | ▲42.0 | ▲20.1 | ▲3.2 |
| 6 | 2002年6月 | ▲7.0 | 4.5 | ▲17.8 | 6.4 | 31.0 | ▲19.9 | ▲12.9 | ▲26.3 | ▲2.5 | 15.6 |
| 7 | 2002年9月 | ▲19.0 | ▲10.3 | ▲27.9 | ▲4.4 | 2.0 | ▲15.8 | ▲4.9 | ▲26.8 | ▲5.5 | ▲3.1 |
| 8 | 2002年12月 | ▲39.0 | ▲40.5 | ▲37.5 | ▲40.5 | 16.1 | ▲7.9 | ▲6.0 | ▲9.8 | ▲18.8 | ▲10.8 |
| 9 | 2003年3月 | ▲40.3 | ▲40.2 | ▲40.3 | ▲26.7 | ▲12.8 | ▲16.9 | 0.0 | ▲32.3 | ▲19.1 | ▲7.2 |
| 10 | 2003年6月 | ▲36.0 | ▲33.2 | ▲38.2 | ▲26.1 | ▲5.0 | ▲25.1 | ▲23.9 | ▲26.1 | ▲10.9 | 4.3 |
| 11 | 2003年9月 | 6.1 | 17.3 | ▲3.9 | 20.8 | 16.8 | ▲5.2 | 6.3 | ▲15.5 | 13.2 | 7.8 |
| 12 | 2003年12月 | 27.1 | 29.7 | 24.6 | 16.6 | 27.5 | 12.3 | 11.3 | 13.1 | 3.5 | 6.6 |
| 13 | 2004年3月 | 30.7 | 37.1 | 25.5 | 37.0 | 32.9 | 5.5 | 17.5 | ▲4.4 | 8.1 | 13.0 |
| 14 | 2004年6月 | 40.5 | 51.0 | 31.5 | 34.6 | 35.6 | 6.8 | 16.2 | ▲1.1 | 18.3 | 22.3 |
| 15 | 2004年9月 | 35.0 | 46.2 | 24.5 | 29.3 | 15.0 | 14.0 | 20.7 | 7.9 | 15.2 | 5.7 |
| 16 | 2004年12月 | 13.5 | 14.5 | 12.4 | ▲9.6 | 4.5 | 7.1 | 12.2 | 2.4 | 4.8 | 4.6 |
| 17 | 2005年3月 | ▲10.0 | ▲5.7 | ▲13.4 | 5.5 | 15.7 | ▲3.0 | 10.0 | ▲13.6 | 3.2 | 16.5 |
| 18 | 2005年6月 | 9.2 | 13.2 | 4.9 | 12.9 | 28.2 | ▲1.1 | 3.4 | ▲5.8 | 11.0 | 19.9 |
| 19 | 2005年9月 | 24.0 | 31.3 | 18.1 | 27.6 | 23.0 | 4.1 | 10.9 | ▲1.6 | 18.8 | 16.8 |
| 20 | 2005年12月 | 47.5 | 53.5 | 41.7 | 38.8 | 36.3 | 16.9 | 26.6 | 7.8 | 20.5 | 13.9 |
| 21 | 2006年3月 | 40.7 | 46.6 | 35.9 | 46.5 | 39.8 | 14.3 | 17.8 | 11.3 | 15.4 | 19.9 |
| 22 | 2006年6月 | 41.1 | 53.4 | 29.5 | 39.0 | 30.6 | 7.4 | 16.9 | ▲1.6 | 20.0 | 25.1 |
| 23 | 2006年9月 | 35.3 | 48.1 | 24.3 | 34.5 | 18.7 | 8.4 | 25.2 | ▲6.1 | 22.7 | 14.4 |
| 24 | 2006年12月 | 30.2 | 40.0 | 22.5 | 15.5 | 15.6 | 20.7 | 26.9 | 15.9 | 13.0 | 12.8 |
| 25 | 2007年3月 | 20.4 | 31.6 | 13.9 | 29.7 | 24.9 | 7.3 | 14.7 | 3.0 | 16.0 | 20.9 |
| 26 | 2007年6月 | 15.1 | 27.8 | 6.9 | 19.8 | 22.0 | ▲0.2 | 2.7 | ▲2.0 | 15.5 | 24.7 |
| 27 | 2007年9月 | 3.6 | 15.3 | ▲3.4 | 13.5 | 10.2 | ▲1.2 | 5.7 | ▲5.4 | 11.6 | 12.1 |
| 28 | 2007年12月 | ▲15.9 | ▲9.5 | ▲19.7 | ▲22.1 | ▲10.1 | 3.7 | 4.5 | 3.3 | ▲2.0 | ▲0.2 |
| 29 | 2008年3月 | ▲43.9 | ▲39.2 | ▲46.6 | ▲35.1 | ▲18.8 | ▲15.6 | ▲1.4 | ▲24.1 | ▲12.9 | ▲2.6 |
| 30 | 2008年6月 | ▲48.6 | ▲49.3 | ▲48.2 | ▲44.6 | ▲32.4 | ▲22.6 | ▲20.7 | ▲23.6 | ▲17.5 | ▲6.9 |
| 31 | 2008年9月 | ▲66.2 | ▲64.1 | ▲67.6 | ▲55.8 | ▲42.2 | ▲27.9 | ▲21.1 | ▲32.2 | ▲17.7 | ▲17.4 |
| 32 | 2008年12月 | ▲83.1 | ▲87.8 | ▲80.1 | ▲78.4 | ▲56.9 | ▲41.7 | ▲45.0 | ▲39.7 | ▲42.4 | ▲33.4 |
| 33 | 2009年3月 | ▲87.9 | ▲90.7 | ▲86.1 | ▲65.3 | ▲39.2 | ▲63.9 | ▲63.8 | ▲63.9 | ▲52.6 | ▲36.2 |
| 34 | 2009年6月 | ▲42.2 | ▲24.1 | ▲52.5 | ▲19.6 | 8.5 | ▲46.5 | ▲39.1 | ▲50.7 | ▲23.0 | ▲1.3 |
| 35 | 2009年9月 | ▲16.6 | 2.0 | ▲27.6 | ▲5.0 | 1.7 | ▲24.4 | ▲10.1 | ▲32.9 | ▲11.1 | ▲10.2 |
| 36 | 2009年12月 | ▲16.8 | ▲7.1 | ▲23.1 | ▲23.6 | ▲5.4 | ▲14.2 | 1.0 | ▲23.8 | ▲23.6 | ▲16.8 |
| 37 | 2010年3月 | ▲9.9 | 4.7 | ▲18.8 | ▲1.4 | 8.6 | ▲19.3 | ▲4.3 | ▲28.4 | ▲12.2 | 0.2 |
| 38 | 2010年6月 | 4.5 | 23.4 | ▲7.7 | 5.3 | 18.7 | ▲6.5 | 8.3 | ▲16.2 | ▲0.2 | 12.8 |
| 39 | 2010年9月 | ▲17.1 | ▲3.8 | ▲25.9 | ▲20.2 | ▲17.0 | ▲10.6 | ▲0.5 | ▲17.2 | ▲6.3 | ▲10.0 |
| 40 | 2010年12月 | ▲18.5 | ▲12.5 | ▲22.3 | ▲15.9 | 3.7 | ▲9.9 | ▲3.5 | ▲13.8 | ▲14.4 | ▲0.2 |
| 41 | 2011年3月 | 5.3 | 11.7 | 1.1 | 6.9 | 9.8 | ▲1.6 | 3.4 | ▲4.8 | 1.4 | 5.0 |
| 42 | 2011年6月 | ▲57.1 | ▲58.1 | ▲56.5 | ▲13.0 | 17.0 | ▲24.4 | ▲26.3 | ▲23.4 | ▲9.2 | 10.7 |
| 43 | 2011年9月 | ▲9.5 | 9.7 | ▲23.4 | 2.0 | 5.7 | ▲8.0 | 9.2 | ▲20.4 | 8.0 | 2.1 |
| 44 | 2011年12月 | ▲26.4 | ▲22.2 | ▲29.8 | ▲17.2 | 0.0 | ▲9.4 | ▲3.8 | ▲13.7 | ▲10.4 | 2.1 |
| 45 | 2012年3月 | ▲8.5 | ▲0.9 | ▲14.7 | 14.3 | 17.2 | ▲12.2 | ▲7.3 | ▲16.1 | 1.0 | 10.1 |
| 46 | 2012年6月 | ▲4.9 | 6.3 | ▲14.6 | ▲4.7 | 17.4 | ▲8.1 | ▲2.9 | ▲12.5 | 5.2 | 19.0 |
| 47 | 2012年9月 | ▲9.9 | ▲0.5 | ▲17.6 | 3.2 | 2.8 | ▲5.5 | 3.3 | ▲12.5 | 11.7 | 1.1 |
| 48 | 2012年12月 | ▲40.5 | ▲44.0 | ▲37.6 | ▲20.0 | ▲3.0 | ▲8.4 | ▲7.6 | ▲9.0 | ▲12.3 | ▲4.6 |
| 49 | 2013年3月 | 22.0 | 32.3 | 13.0 | 37.7 | 38.0 | ▲1.7 | 9.8 | ▲11.6 | 7.9 | 24.5 |
| 50 | 2013年6月 | 45.8 | 54.5 | 36.6 | 47.4 | 43.6 | 8.2 | 10.3 | 6.1 | 20.5 | 24.9 |
| 51 | 2013年9月 | 32.8 | 42.8 | 22.7 | 37.3 | 35.3 | 8.0 | 21.3 | ▲5.5 | 22.9 | 16.3 |
| 52 | 2013年12月 | 47.6 | 58.3 | 38.9 | 47.0 | ▲5.6 | 22.8 | 29.9 | 17.0 | 19.3 | ▲4.9 |
| 53 | 2014年3月 | 50.4 | 59.1 | 42.7 | ▲31.3 | 26.9 | 20.2 | 30.2 | 11.3 | ▲18.8 | 16.6 |
| 54 | 2014年6月 | ▲27.6 | ▲31.6 | ▲23.8 | 33.4 | 37.6 | ▲18.4 | ▲19.5 | ▲17.4 | ▲14.8 | 23.6 |
| 55 | 2014年9月 | 17.1 | 35.2 | 1.2 | 27.4 | 17.8 | 4.5 | 18.7 | ▲7.7 | 17.8 | 15.1 |
| 56 | 2014年12月 | 6.4 | 13.0 | 0.4 | 4.5 | 14.2 | 9.4 | 13.1 | 6.1 | 3.9 | 3.0 |
| 57 | 2015年3月 | 18.2 | 30.7 | 7.5 | 23.8 | 26.2 | 8.2 | 21.1 | ▲2.8 | 4.2 | 16.7 |
| 58 | 2015年6月 | 21.0 | 32.7 | 10.6 | 25.4 | 28.2 | ▲2.4 | 2.3 | ▲6.5 | 16.0 | 22.3 |
| 59 | 2015年9月 | 10.0 | 18.4 | 2.7 | 16.0 | 13.1 | 4.7 | 15.4 | ▲4.3 | 17.0 | 13.0 |
| 60 | 2015年12月 | 4.9 | 7.0 | 3.1 | 0.0 | 10.0 | 7.5 | 10.2 | 5.2 | 7.3 | ▲0.7 |
| 61 | 2016年3月 | ▲28.1 | ▲23.9 | ▲31.9 | ▲7.8 | 2.1 | ▲2.8 | 1.0 | ▲6.2 | 4.3 | 8.4 |
| 62 | 2016年6月 | ▲18.6 | ▲12.8 | ▲23.7 | ▲6.1 | 5.2 | ▲10.9 | ▲14.9 | ▲7.5 | 4.5 | 15.1 |
| 63 | 2016年9月 | ▲13.6 | ▲6.9 | ▲19.3 | 2.0 | 1.6 | ▲3.8 | 5.5 | ▲11.4 | 7.0 | 5.4 |
| 64 | 2016年12月 | 4.8 | 6.7 | 3.0 | 1.0 | 3.6 | 6.3 | 10.4 | 2.5 | 5.1 | ▲1.3 |
| 65 | 2017年3月 | 8.6 | 18.4 | 0.0 | 13.8 | 15.4 | 3.8 | 16.6 | ▲7.1 | 6.5 | 15.5 |
| 66 | 2017年6月 | 14.0 | 23.9 | 5.2 | 15.5 | 22.1 | 5.0 | 5.9 | 4.2 | 12.1 | 19.7 |
| 67 | 2017年9月 | 18.1 | 24.5 | 12.8 | 22.0 | 16.3 | 8.9 | 18.4 | 0.9 | 20.7 | 13.5 |

国内景気判断と自社業況判断の推移

